

# 平成29年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第5分科会  
都留市立旭小学校  
教頭 雨宮 基博

## 『地域と協働で子どもを育むコミュニティ・スクール』 ～保護者・地域と協働し、地域の教育資源を活用することを通して～

### 1. はじめに（本校の概要）

本校は、都留市の南東部に位置し、東は上野原市秋山、南を道志村に隣接した地区にあり、南西から朝日川、北西から大平川が流れ交わる三角州の台地に学校がある。この地の歴史は古く、小学校の校舎は縄文時代の尾咲原遺跡の上に立ち、建設地から土器類が数多く発見され、校地に隣接した敷地に竪穴住居が復元されている。さらに、学校の南西には、ムササビの住んでいる石船神社の森があり、本校の子どもたちは長年ムササビの保護活動に取り組んでいる。



旭小学校は、全校児童35名という小規模校であるが、学年の枠を超えて休み時間も仲良く遊んだり、年間を通して様々な縦割り班活動を設けて協力して活動したりしている。また、ランチルームで全校児童が一緒に給食を食べる機会も設けている。

本校は、長年、地域と連携・協力関係が培われてきた歴史がある。

「盛里協働のまちづくり推進会」は、地域の連携を深める目的で平成15年に設置された組織である。「高齢者ふれあいの集い」といった地域の住民が集う機会には旭小児童が演技を発表したり、作品を掲示したりして学校の教育活動を知らせる機会にもなっている。また、地域での子どもたちの放課後や週末の安全・安心な活動拠点（居場所）として様々な体験活動を提供する「旭子ども教室」は、本校の児童のほとんどが所属し、年間を通して活動している。様々な活動の中で、本校の子どもたちは、地域の中で育まれてきている。



このような背景がある中で、旭小学校は平成27年10月に山梨県教育委員会より学校運営協議会設置推進事業推進校に指定され、2年間、学校運営協議会の設置に向けた準備が進められた。そして、平成29年7月に都留市よりコミュニティ・スクールの指定を受けた。

本発表では、「地域と協働で子どもを育むコミュニティ・スクール」の創造をテーマに、地域の教育資源を活用した様々な教育活動を取りあげる。

### 2. 旭小学校コミュニティ・スクールの組織及びグラウンドデザイン

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みである。本校では、次のような組織及びグラウンドデザインが構想されている。

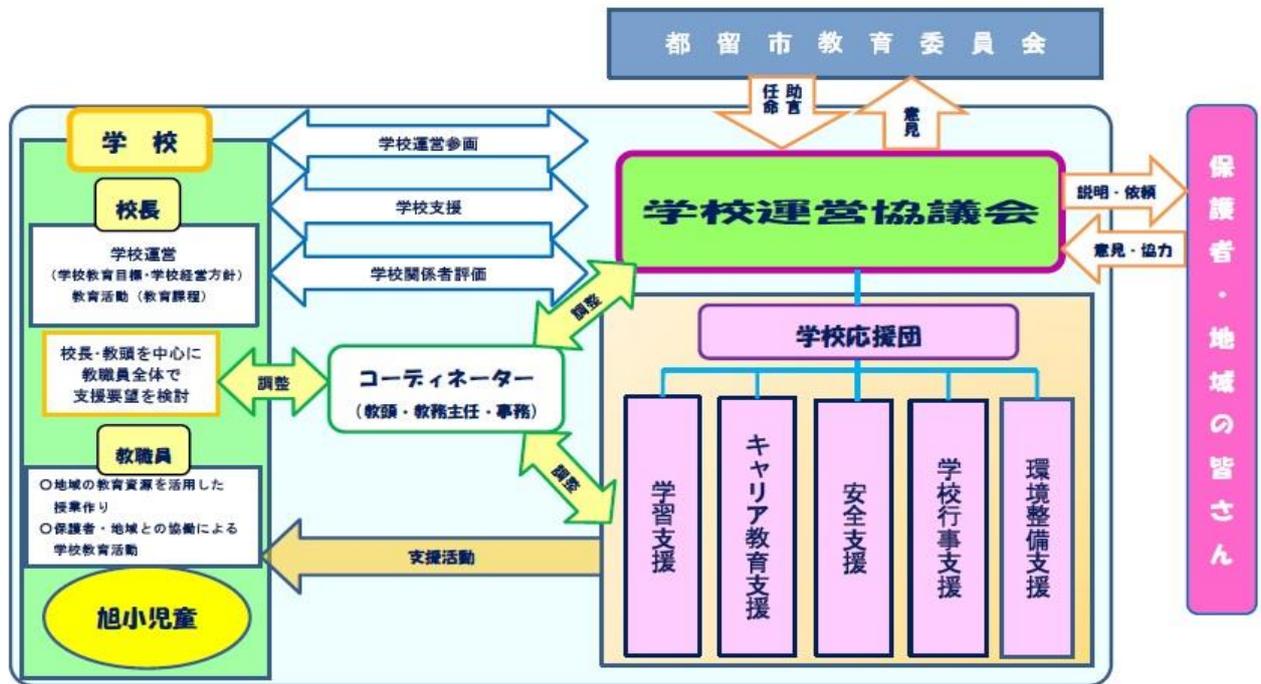
#### (1) 学校運営協議会

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりといった取組が行われる。保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、地域の力で学校をより良いものにしていくことができる組織である。

旭小学校は、平成27年10月1日より学校運営協議会設置推進事業推進校に指定され学校運営協議会設置に向けた準備



を始めた。そして、2年次にあたる平成28年度7月に都留市教育委員会により学校運営協議会設置推進委員会が設置され、委員の研修、さらに組織及び活動の準備を行い、平成29年7月に旭小学校学校運営協議会が設置された。旭小学校コミュニティ・スクールの組織図は、以下の通りである。学校運営協議会が中核となり、学校・保護者・地域が連携した学校づくりを構想し、展開している。



## (2) 学校応援団

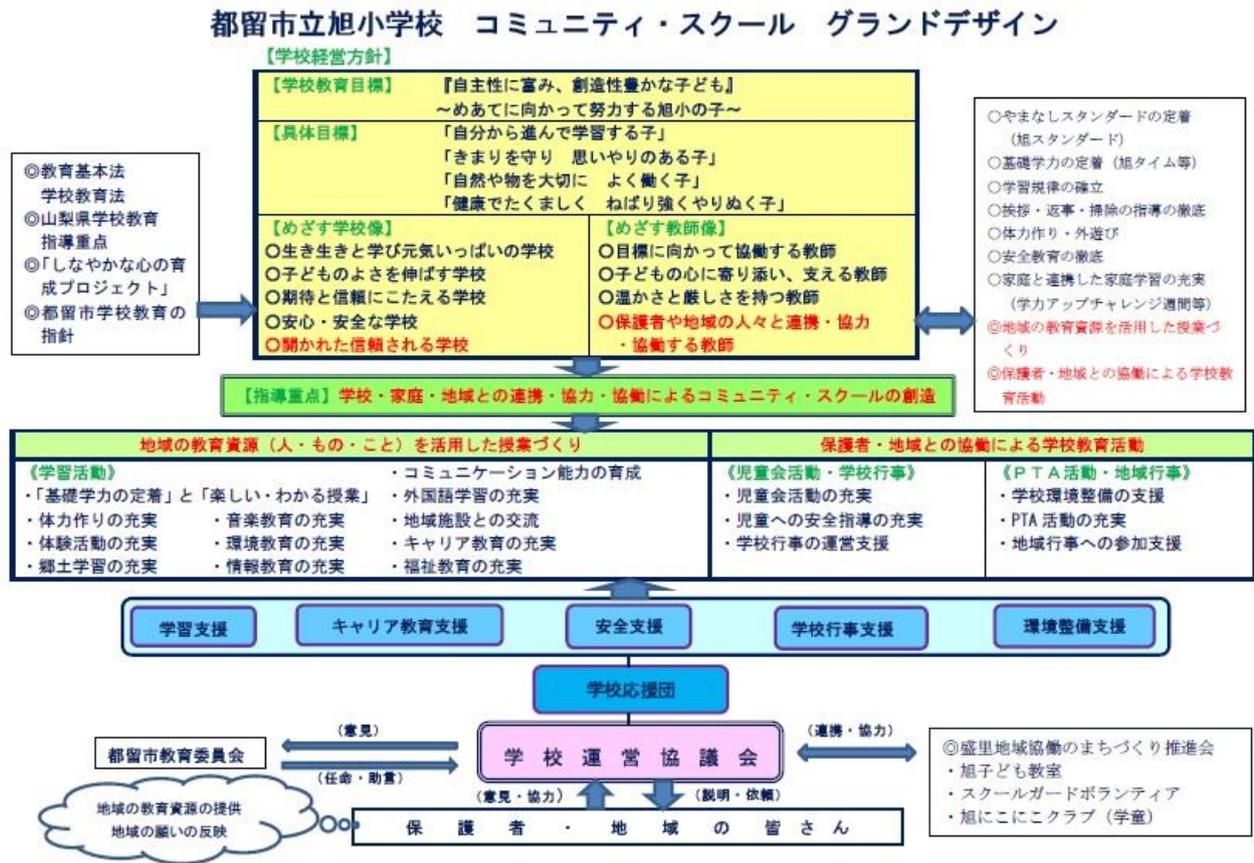
学校を支援する組織として、学校と保護者・地域と連携して行われた様々な活動を整理し、さらに保護者・地域の方々に積極的に学校の教育活動への参加・支援が行われるように、「学校応援団」を組織した。「学校応援団」は、学校における学習活動、安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織である。旭小学校の学校応援団は、「学習支援」「キャリア教育支援」「安全支援」「学校行事支援」「環境整備支援」の5つの支援部会を設けている。それぞれの支援部会の主な活動内容を以下の表にまとめている。実際はそれぞれが独立した組織としてできあがっているものでなく、目下、支援・連携活動を展開する中で組織としてできあがっていくことをねらって活動している。

### 学校応援団の活動内容

部会名	支援者（支援団体）	活動内容（ねらい及び具体的内容）
学習支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都留文科大学生（SAT）</li> <li>○学力フォローアップ事業</li> <li>○いきいき教育地域人材活用推進事業</li> <li>○旭小保護者</li> <li>○地域住民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SAT（基礎学力の定着）</li> <li>・学力フォローアップ（基礎学力の定着）</li> <li>・コンピュータ指導（情報教育の充実）</li> <li>・合唱指導（音楽教育の充実）</li> <li>・野菜作り支援（体験活動の充実）</li> <li>・陸上指導（体力作りの充実・運動技術の向上）</li> <li>・郷土食作り（郷土学習の充実）</li> <li>・昔の遊び（体験活動の充実）</li> <li>・リコーダー指導（音楽教育の充実）</li> <li>・まち探検（郷土学習の充実）</li> </ul>
キャリア教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALT</li> <li>○都留興譲館高校</li> <li>○都留第二中学校</li> <li>○盛里保育園</li> <li>○特別養護老人施設「もりの郷」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語授業（外国語学習の充実）</li> <li>・興譲館高校教諭による英語授業（外国語学習の充実）</li> <li>・興譲館高校見学（キャリア教育の充実）</li> <li>・都留第二中教諭による出前授業（キャリア教育の充実）</li> <li>・盛里保育園との交流（地域施設との交流）</li> <li>・特別養護老人施設「もりの郷」との交流（地域施設との交流）</li> </ul>
安全支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旭小PTA</li> <li>○盛里地域協働のまちづくり推進会</li> <li>○スクールガードボランティア</li> <li>○大月警察署・盛里駐在所</li> <li>○大月交通安全協会</li> <li>○都留市消防本部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室（児童への安全指導の充実）</li> <li>・防犯教室（児童への安全指導の充実）</li> <li>・着衣泳（児童への安全指導の充実）</li> <li>・心肺蘇生法（保護者・児童への安全指導の充実）</li> <li>・避難訓練（引き渡し訓練・消火訓練）（保護者・児童への安全指導の充実）</li> </ul>
学校行事支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旭小PTA</li> <li>○盛里地域協働のまちづくり推進会</li> <li>○盛里保育園</li> <li>○都留市社会福祉協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会運営支援（競技運営の手伝い）</li> <li>・盛里地区高齢者ふれあいの集い（運動会表現運動発表・作品掲示・高齢者との交流）</li> <li>・親子学習会（環境教育等に関する学習会）</li> <li>・旭まつり（保護者・地域住民・盛里保育園児との交流）</li> <li>・福祉講話（福祉教育の充実）</li> </ul>
環境整備支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旭小PTA</li> <li>○地域住民</li> <li>○学芸員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA環境整備作業</li> <li>・落ち葉掃き（学校周辺の落ち葉掃き）</li> <li>・ムササビ保護活動（ムササビ観察会・ムササビのえさやり）（環境教育の充実）</li> </ul>

### (3) 旭小学校コミュニティ・スクールのグランドデザイン

旭小学校の学校経営方針に従い、学校・保護者・地域と連携・協力・協働して目指すべき教育活動・内容を具現化していくためにグランドデザインを作成した。本グランドデザインに示されているように「地域の教育資源（人・もの・こと）を活用した授業づくり」、「保護者・地域との協働による学校教育活動」という二つの教育活動を展開する中で「学校・家庭・地域との連携・協力・協働によるコミュニティ・スクールの創造」を目指している。



### 3. 旭小学校コミュニティ・スクールの実践活動

#### (1) 地域の教育資源（人・もの・こと）を活用した授業づくり

##### ① 学習支援活動の実践

「楽しく・分かる授業」「児童のコミュニケーション能力の育成」を目指して、地域の教育資源（人・もの・こと）を活用した授業が、学年ごとに、低・中・高のブロックごとに、あるいは全校単位で展開している。

#### 【1年生】生活科

1年生の生活科の「みんなのにこにこだいさくせん」の学習で、児童の祖父母、地域の祖父母を招いて、こま・お手玉といった昔の遊びを一緒に行い、おじいちゃん・おばあちゃんに楽しんでもらうような時間を作った。子どもたちは、おじいちゃん・おばあちゃんからこまの回し方やお手玉の仕方を教わったりして、楽しく過ごすことができた。

## 【2年生】生活科

2年生の生活科の地区探検では、地域にある各施設の様子を知るために、職員の方々から話を聞く機会を持った。コミュニティーセンター・郵便局では職員の方々から施設について話を聞いたり、本光寺では座禅体験をしたりした。大月ガーデンゴルフクラブではカートに乗ってティーグラウンドの近くまで連れて行ってもらったり、クラブハウスの中を見学したりして、ゴルフ場の様子を詳しく知ることができた。各施設の職員の方々にご協力いただき、地域にある施設について理解を深めることができた。

## 【3・4・5年】音楽（合唱・合奏指導）



合唱・合奏指導

3・4・5年生は、市内の親善音楽会に向けて、市内在住の合唱指導の専門家にご指導を頂く機会を設けている。

担任の先生からの指導だけでなく外部の専門家の指導機会を持つことで、子どもたちは、自分たちの合唱・演奏をさらに向上しようという意欲を高める機会にもなっている。

## 【5年生】総合的な学習の時間（米づくり・富士山学習）



「もっと知りたい富士山」

総合的な学習の時間の「もっと知りたい富士山」の学習で、世界ボランティアセンターの職員の方々から富士山の歴史や自然について学んだ。また、「お米をさぐろう」の学習では、児童の祖父の田植えの様子を見学したり、疑問点を聞いたりして学習を深めた。

## 【6年生】修学旅行事前学習 「鎌倉宮と雛鶴神社」

地域在住の児童の祖父にお願いし、校区にある雛鶴神社と鎌倉宮の関係について話を聞いた。鎌倉宮に祀られている護良親王や雛鶴姫について、多くの資料を提示して詳しく説明していただいた。修学旅行では、自分たちの住む地域とゆかりのある場所として鎌倉宮を見学することができた。



## 【全校】

パソコン学習では、地域在住の方に指導支援をお願いし、情報教育の充実に努めている。また、運動会で踊る「都留音頭」を地域在住の指導者に指導のお願いをした。踊りのポイントを分かりやすく教えてもらい子どもたちは本番に向け自信を深めることができた。



パソコン指導

## ② キャリア教育支援活動の実際



国際理解教育(都留興館譲館高校)

5・6年生は、毎週ALTによる外国語学習の指導を受けている。国際理解教育の充実にために、都留興譲館高校と連携し、1・2・3・4年生を対象にして、高校の英語の先生方から英語の指導を受ける機会を設けている。

毎年行われているが、毎回工夫した授業で、子どもたちは英語に楽しみながら、親しんでいる様子が見られる。

## (2) 保護者・地域との協働による学校教育活動の実際

### ① 安全支援活動

児童の安全を守るための学校の教育活動を支援するために様々な活動が行われた。交通安全教室では、地域にある盛里駐在所の警察官、スクールガードボランティアの方々にご協力を頂き、安全な歩行の仕方、自転車の乗り方について学習した。夏季休業中のプールを実施するために保護者に監視員のお願いしているが、万が一の子どもたちの事故に対応するためにPTA心肺蘇生法講習会も実施した。また、児童数の減少に伴い監視する保護者の人数も少なくなってきたため、本年度は、学童支援員の方々に協力してもらい監視のお手伝いをしていただいた。



PTA心肺蘇生法講習会



防犯教室

## ② 学校行事支援



PTA 親子学習会

## ③ 環境整備支援活動



PTA環境整備作業

土曜参観日にPTA親子学習会を行った。保護者や地域の方も含め総勢 60 名で、臨床心理士の先生から「コミュニティと子どもの元気な心」をテーマに体験的に学習した。また、同日、PTA環境備作業ではほとんどの保護者が参加した。

### (3) 地域・家庭への周知の取り組み

コミュニティ通信「あさひっこ」を発行し、学校運営協議会の活動、学校応援団活動を地域及び保護者に周知し、旭小学校から地域へ情報発信を行っている。

学期に1回の発行ペースであるが、保護者・地域在住の方々と連携して行った授業や様々な活動を伝えている。保護者・地域の方々のご協力により、学校教育活動が充実していることを伝える手段となっている。

### 3. コミュニティ・スクールの成果と課題

本校は「地域と協働で子どもを育むコミュニティ・スクール」の創造に向けて実践展開を始めたばかりである。しかし、本年度、学校運営協議会を支える学校応援団活動の展開により、徐々に地域の方々の本校の教育活動への関心が高まり、協力及び参画が図られるようになってきている。

また、学校運営協議会には、地域との協働において本校が長年連携してきた「盛里協働のまちづくり推進会」「旭子ども教室」「旭にこにこクラブ（学童）」等の組織の方々に委員とさせていただいている。これらの組織の方々と意見を交わす中で、さらに地域と協働で子どもを育むための新しい教育活動の展開の可能性も広がってきている。

一方、コミュニティ・スクールの創造に向けた学校応援団活動を進めて様々な教育効果が見られているが、課題点もある。本校の学校応援団活動は組織がしっかりと整っているわけではない。現在は、学校職員が様々な活動のコーディネーターを担い運営している。今後、活動を展開していく中で、地域・保護者の中からコーディネーター役を担っていただけるようになり、双方向的な活動にしていくことが課題である。

今後も旭小の子どもたちが自分たちの郷土に誇りを持ち、豊かに成長できるように、旭小学校のコミュニティ・スクールの創造に向けて、さらに実践をすすめていきたい。